

04.学校の雰囲気や環境に関すること

通学時間・通学時間が広すぎない校区



50代



50代

失敗を許せる学校

子ども達がまなびたいこと、やりたい事を知る



50代



50代

大人も子供も対等

子どもが中心の学校



50代



50代

つめこみすぎない教育



50代

学校で働く大人の意見は？



40代

集まったり一緒に行動できる授業



70代

子ども同士での褒めあい等が、頻繁にあるか



70代

子ども同士仲良くやっているか
学校に来ること凄く楽しんでいるか
子どもから先生にリクエストあるか



60代

幼保小中校・専門学校の一貫教育。



70代

学校は学びと遊びのかけがえのない場所



70代

小中一貫のイメージが沸かない。



60代

こども園～小中高～専門学校の一貫教育



50代

複式学級を適正に運営



50代

育成会やPTAについてどのような形になるのか。
どう考えていくのか。



50代

小中一貫となったときに、通常の6年制→3年制になるのか、5年制→4年制になるのがいいのか。



50代

規模感。どのくらいの規模の学校にするのがいいのか。保護者や本人にとっては、小さい学校がいい人もいれば、大きな学校がいい人もいて選択肢が難しい。



50代

打たれ弱い子が多くなっている中で、フォロー等どのようにしていくのか。



40代

今の子は、打たれ弱い子が多い為、そのまま成長するよりは、時代に沿わないかもしれないがもう少し厳しくしてもいいと思う。



50代

スクールバスを利用しているが、体力づくりの為に歩いて帰るのも大事。(集団下校)



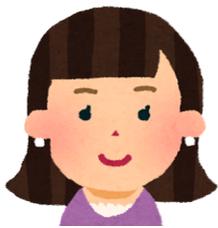
40代

複式のメリット・デメリットがあるが、先生の数を増やすことでデメリットが克服出来て良かった。



40代

継立小学校はアットホーム、自然豊かですが(コミュニティが)狭い。



30代

同級生が少ないと、進学すると同級生が急に増えて子どもが困るのではないか。



40代

環境の変化を乗り越えて、子どもは成長していくのではないか。



40代

運動会での競技は、徒競走や運命走などの競うものばかりで、みんなで協力して出来る競技が減ってきている。大玉転がしなど、皆で協力できるものがあるといい。



50代

騎馬戦もケガに繋がるからやらなくなった。コロナもあって、競技が減ってきた。



40代

一貫教育とは？どのようなものになるのか。イメージが湧かない。



40代

子どもたちの遊ぶ時間を増やしてほしい。また、子供たちが自然と集まる場所があると良い。



40代

学校は北海道大学のようなイメージで、木に囲まれた環境でもいいと思う。



40代

新しいものを作るのもいいとは思いますが、今ある施設も大切にしてほしい。



40代

栗山は人も、場所もあるけど、学校にどうつなげていくかも大変。先生も大変。学校の仕組みづくりも課題。



50代

町外から、栗山の学校がいい！と思って来てもらえる学校がいい。



30代

学校に図書館がくっついている複合施設があってもいいと思う。



40代

町外のレベルも含め、大人ももう少し気にした方がいい。



40代

学力の育てながらも、コミュニケーション能力も育て
ていける環境づくり。

今後も各々の子ども達に必要な対応をお願いします。



40代

“個性”がお互いに理解され、誰もが尊重されたいいな！

仕事柄、神経発達症の診断を受けたお子さんや、未だ診断は
されていないものの凸凹や割と目立つ個性のあるお子さんと
関わっています。このようなお子さんにいわゆる“一般社
会”で生きやすくなるためのトレーニング（相手がどのよう
に受け止めているかを考える練習、学校生活の困ったシチュ
エーションをうまく解決するための予習等）や、“一般”と
される子たちとの交流を促進することも仕事の内です。

このように、マイノリティになる側は“みんなと一緒に”にな
れるよう、相手を理解できるよう努力しています。

では、マジョリティとされる側はどうか？

何となく、あの子はちょっと変わってるから、特別支援学級
に在籍しているから、と感じてはいるけれど、理解する、に
は至っていないような気がします。（当然、学校教育の社会
（福祉）、道徳の中で学ぶ機会是用意していただいていると
は思いますが）

個別のケースの違いがあったり、中途半端な情報を出すこと
は特別視の助長につながる可能性があったりと、懸念される
ことはたくさんあると思いますが、神経発達症に限らず、い
ろいろな“個性”がお互いに理解され、誰もが尊重される学
校になることができるよう、当事者の話を聞いたり、意見交
換する機会が豊富にあればいいなと考えます。（時代がかわ
り、すでに学校側でも十分考えてすすめていただいている部
分だということも理解しております）



40代

不登校児童が学校に入れるよう、一般児童とは別の玄
関と特別教室を作るのがいいのではないかな。



70代



70代

不登校児童には教室で学べる環境作りが必需だと思う。

退職者教員等にボランティア登録をしてもらい、児童の家にこちらから行き、人との関わりを作る事が大切だと思う。加えて、学習の補助も出来るとよいのではないか。



70代



20代

小中学校が近くにあるといい。

子ども達に余裕が生まれるような広々とした空間があるといい。



20代



50代

学童とは別に、放課後の子どもの過ごせる場。放課後に体育館や使用できる教室を解放し、学習やスポーツ、遊びなど安心・安全に過ごせる場。居場所づくり。
(地域の方の協力を得て。ボランティアなど)

子ども達が、周りの子の多様性を認め、仲間だと受容し合える学校



40代



40代

子ども達の自発性（能動的な学習意欲）を伸ばしてくれる学校

学校に行きにくい子ども達が心地よく過ごせる居場所作り（他市町村の不応指導教室のような）
～現在、学校内で通級教室や保健室対応、個別対応など、先生達のご尽力されており、大変感謝しています。それに加えて、学校外でも社会と繋がることができ、再登校への準備期間を過ごせるような場所が栗山にもあったら良いなと日々の関わりの中で感じます（家庭と学校の中間的な位置づけの場所といったイメージ）。



40代

配布用資料を読みながら、一貫教育の魅力（年上の子ども達の様子を見て、自分の将来のモデルをイメージすることができる点）を感じました。その反面、今まで角田小学校や継立小学校を訪問した中で、小規模校だからこそその良さを感じたことを思い出しました。人数が少ないからこそ、異学年交流が必然的に生まれ、高学年の子が低学年の面倒を見る、面倒を見てもらった低学年の子は自分が高学年になった時に、自分がしてもらったように低学年の子たちの面倒を見るという自然な循環が出来上がっていました。資料にあった一環教育と規模は違いますが、異学年交流を通じての自然な学びの姿は共通するものがあるように感じます。また、一人っ子や核家族が増えている現在だからこそ、このような異学年交流の場はとても大事なものだと感じるので、規模の大きさに関わらず残して行ってほしいなと個人的に思います。



40代

その日のコンディションによって、逃げ場・クールダウンが出来る場所がある学校がいいと思う。



40代



40代

学童の場所が、継小はまつば保育まで行かなければならず、角小は校内の一角、空き教室等を使わせてほしい



20代

異なる年齢と一緒に活動できる時間があると良い（総合学習の時間等）



20代

子どもの主体的な学びは重要であるが、社会を生き抜いていくには子ども自ら考えて行動する力を育てていかなければならない。そのためには、他の子と協力しながら課題を解決することに力を育てていかなければならない。少子化からか、親が子どもに手厚く保護されている事も良い事か疑問に感じている。



20代

小さな学校から、人数の多い中学校に入学した時、学校になじめるか不安なので、不安を取り除けるような学校を作ってほしい。



20代

小さな学校だからできた事が少しでも残っていてほしいと思う、どの学校のいい所を残して新たな学校になってほしい。



60代

大人になり学校の事を思い出した時は、楽しい記憶がたくさん残る学校



60代

トイレや廊下など汚くて暗いと感じる場所が居心地よくなれば良いと思う。



60代

ペーパーレスの時代だからこそ、図書室には色々なジャンルの本があって欲しい。読んだ本の乾燥を語り合える仲間ができるような空間であればと思う。



20代

公立の小中一貫校→児童センターも併設できれば、利便性と子どもたちの安全を守る事が出来る。



60代

学年ごとに勉強しているが、日の中で何度かフリースクールのように自由に学年関係なく勉強する事が出来るといいなと思う。



60代

栗山公園以外にも、子ども達をもっといろいろな遊べる施設、子どもがワクワクする遊びが出来る場所があったらいいと思う。



60代

親子でいろいろな催し物が出来る、休日などゆっくりくつろげて遊ぶ事が出来たらいいと思う。



60代

栗山でも様々な理由で学校に行けなくなっている子供達が増えている。そういう子供達の居場所として、フリースクールの様な学校があれば、子供達が行きたい時に受け入れて、不安や悩みを聞いてくれたり話相手になってくれたりしている場所（学校）があればいいのではないかな。

栗山公園の遊具が壊れたり劣化して期間な物は撤去され、そのままになっている物がほとんどで、広場のようになっている現状です。公園にもう少し遊具を設置していただけたら、子どもも親も喜び、公園を利用する人も増えるのではないかな。



60代



60代

自分の感情を表現や伝える事が苦手でパニックになったり、興奮状態が続いたり場面を切り離して気持ちを落ち着かせるような空間があればいいと思う。

全蛇口からお湯が出る学校があったらいいと思う。感染症が増えているので、冷たい水で洗うよりは感染を防げるのではないかな。



30代



30代

議会報告に「トイレに生理用品をおかず、保健室に配布し、加えて養護教諭のフォローをする。」との記載がありましたが、多様な家族関係も増えてきており、大人に助けを求められないような子もいる為、置いた方が良くはないかな。

アニマルセラピーなど、動物を通して心の授業が出来る学校



子どもから大人まで楽しめる施設を充実させてほしい

発達気になる子が生活しづらくなっている様子や段々と孤立していく様子などを目のあたりにし、周りとうまく生活できるようになる環境作りが必要だと感じる。



不登校児童が増えているようで、そんな子が気軽に集まれる場所がほしい

ひと昔前の北星余市高のような、「みんな違ってみんないい」子どもの個性を認め理解し対応してくれる学校。



道徳力の強化が必用と感じる。

学力に合わせた少人数での授業（算数以外にも）



30代



50代

不登校になっている子ども達のために、話し相手になったり弁居うを教えてください、寄り添ってくれる、安心できる場所や人がいるといい。

長沼まおいの丘小学校分校のような学校があったら良いと思う。



70代